

足育特集号：巻頭言

佐久大学の足育に関する 研究ブランディング事業

佐久大学 堀内 ふき

ブランディング研究事業とは、研究を研究者個人の学術的な側面だけにとどまらず、大学の組織的な取り組みへと昇華させ、全学的な看板となるような研究を推進し、その成果をもって、大学の目指す将来に独自色や魅力を発信しようとするものである。本学は、その事業において、2017年度から3年間、佐久大学ブランドを『地域医療先進地「佐久」で健康長寿の拠点となる大学』をめざし、「佐久地域の健康長寿を「^{あしいく}足育」の観点から展開する研究プロジェクト」として選定された。

長野県は、長寿県として有名であるが、中でも佐久市は「世界最高健康都市」を宣言しており、「健康長寿」は、佐久市の目指しているものであった。そして、佐久市には、2014年から足育推進協議会が設立されており、「足の大切さを知る機会が少ない」、「足に悩みがあるけれどどうしたらいいかわからない」などの足の健康に関する課題の解決を図るため、足に注目して産学官医(靴店、スポーツ店、教育機関、自治体、医療機関など)が連携・協力しながら事業を展開してきた。足育推進協議会の事務局と足のサポートセンターは佐久大学におかれ、週1回の相談を、他の会員の参加を得ながら進め、データを蓄積している実績と背景がある。

健康長寿のためには、運動、食事、交流の三つが最も重要とされるが、足育は特に、運動に関連する。「歩く」ということは、身体面に関する効果ばかりでなく、気分転換や気分爽快といった精神面、さらには、地域の人々と交流するためのコミュニケーションのための手段など、健康に関連する多くの要因に影響を与えている。そして、「歩くことを支える」、「足のトラブルを無くす」、「足に合った靴を履く」など、人々の足が健康な状態を保ち、適切に歩き、かつ運動を実施するうえで、大変に重要な役割を果たす。しかし、足育についてはまだ実態の把握も十分とはいえず、今後の研究が期待されるところである。

このような状況を踏まえ、本学では以下のような研究チームで互いに協力し合いながら、研究を進めてきた。主なテーマは、「子供から大人までの足の健康に関する調査」、「妊婦の足と健康問題」、「高齢者の安全な立ち上がり」、「看護・介護学生の靴と足の健康」、「看護師の足の健康」、「靴などの健康関連産業の開発」、「足型の採取とその相談」、「簡便にフットプリントをとることができる足裏測定装置の開発」などの研究を進めている。

今回はそのうちの一部になるが、4編の論文と専門家による講演内容を報告する。

このプロジェクト研究が、個人の研究課題への関心を高め、それぞれが持っている、看護領域の様々な課題解決のための研究活動に繋がれば良いと期待している。